

山毛櫨(ぶな)の子 野沢温泉学園だより第10号

～子どもたちが、ブナ（村木）の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

一年間の活動を振り返って

今年度も残すところあとわずかとなりました。今年は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、小中学校の休校、行事等の中止や短縮などいつもとは全く違う年となりました。

その中で、子ども達は日々できることに一生懸命取り組み、学校生活、園生活を過ごしてきました。学園としての活動が限られてしまった中ですが例年行われている学園授業研究会は実施できました。

午前中はこども園、小中学校の授業公開、午後は授業研究会で研究討議し、またその後は東京大学大学院教授の小国喜弘先生のオンラインでの講演をお聞きしました。

年明けの1月5日は学園職員研修会としておぼろ月夜館館長の上原一雄先生から野沢温泉街の伝統と文化について実際に温泉街を歩きながら教えていただきました。湯澤神社の成り立ちや高野辰之にまつわるエピソードなどこの地で生まれ育った私ですが、改めて確認できたことがたくさんあり、これからの子ども達にも是非知ってほしいと感じた経験になりました。また翌日1月6日には学園職員スキー研修を行い、3学期のスキー授業に向けて指導法などをスキースクールコーチに教えていただきました。

このような野沢温泉村ならではの学園の取り組みをこれからも大切にしていきたいと思えます。

今年度は園児・児童・生徒の交流が持てる活動がほとんど出来なく残念でしたが、来年度は子ども達の笑顔がたくさん見られる活動を報告出来たらと願います。



(文責 のざわこども園 岸)